

開催いたしました。

テーマを「病院淘汰時代 -いかに持続的に地域医療を守るか? -」とし、約100名

のご参加をいただきました。特別講演では、千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センターのセンター長、特任教授 吉村健佑先生をお招きし「政策から見た医療の未来 ~生き延びるための病院経営~」と題し、ご講演をいただきました。

今回も、県内の様々な病院で働く多職種の方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。本学術集会を開催するにあたり、ご協力を賜りました関係各位の皆さまに心より感謝を申し上げ、開催のご報告とさせていただきます。

第24回栃木県支部学術集会

学術集会会長：那須赤十字病院院長 井上晃男

2025年10月18日(土)にライトキューブ宇都宮において、第24回栃木県支部学術集会を開催しました。テーマを「医療・在宅・介護における医療DXの現状と課題~在宅医療の現状と未来~」とし、120名のご参加を頂きました。特別講演は、岡山旭東病院IT推進センターCIOの榎原祥裕氏に「多職種で取り組む病院DX~DXは病院の生き残り戦略~」と題し貴重なご講演を賜りました。シンポジウムでは、あしのメディカルクリニック院長、那須郡市医師会会長の塚原純雄先生をはじめとし薬剤師、訪問看護師の計4名をシンポジストとしてお招きし「在宅医療・介護における現状と医療DXの活用」をテーマに発表、また当院のDX取り組みとして医療情報管理課長 宮内昭広より、「オンプレミス型生成AIサーバによる院内業務手順の簡素化」について発表させて頂きました。ポスター発表には21題の発表があり、各施設で実施されている取り組みの成果が提供されました。会長賞には、済生会宇都宮病院の平澤靖子さんの「入院サポートセンターにおける業務支援アプリ導入の効果」が、他に優秀賞3名が選出され、盛会のうちに終了する事が出来ました。本学術集会を開催するにあたり、



会場風景



会場風景

開催いたしました。テーマを「医療・在宅・介護における医療DXの現状と課題~在宅医療の現状と未来~」とし、120名のご参加を頂きました。特別講演は、岡山旭東病院IT推進センターCIOの榎原祥裕氏に「多職種で取り組む病院DX~DXは病院の生き残り戦略~」と題し貴重なご講演を賜りました。シンポジウムでは、あしのメディカルクリニック院長、那須郡市医師会会長の塚原純雄先生をはじめとし薬剤師、訪問看護師の計4名をシンポジストとしてお招きし「在宅医療・介護における現状と医療DXの活用」をテーマに発表、また当院のDX取り組みとして医療情報管理課長 宮内昭広より、「オンプレミス型生成AIサーバによる院内業務手順の簡素化」について発表させて頂きました。ポスター発表には21題の発表があり、各施設で実施されている取り組みの成果が提供されました。会長賞には、済生会宇都宮病院の平澤靖子さんの「入院サポートセンターにおける業務支援アプリ導入の効果」が、他に優秀賞3名が選出され、盛会のうちに終了する事が出来ました。本学術集会を開催するにあたり、

ご支援ご協力を賜りました関係各位の皆さまに心より感謝を申し上げ、開催の報告とさせていただきます。

第19回山形県支部学術集会

学術集会会長：山形県立新庄病院院長 八戸茂美

2025年11月15日(土)、山形県立新庄病院(大会議室)において日本医療マネジメント学会第19回山形県支部学術集会を開催いたしました。テーマは、「未来を紡ぐ医療連携~切れ目ないケアが患者を救う~」として、一般演題発表、基調講演及びシンポジウム・総合討論を行い、当日はweb参加を含め155名の参加者を迎えることができました。

基調講演は、山形県最上保健所長の山田敬子先生をお迎えし、「今後の医療福祉連携に向けて~山形県の2040年問題は?~」と題して、人口構成から見た医療福祉のニーズ予測や新たな地域医療構想では市町村を巻き込んだ話し合いが必要になることなどをお話いただきました。

そして、「独自の医療連携で地域を守る」とのテーマで銘打ったシンポジウム・総合討論では、県内各地域の事例を4名のシンポジストから紹介いただき、地域の実情とマッチした医療連携がそれぞれの地域で展開されていることを学びました。

一般演題につきましても県内各地の病院等から12題の応募をいただくなど、本学術集会の開催にあたり、多大なるご支援、御協力を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

第24回山口県支部学術集会

学術集会会長：山口労災病院院長 加藤智栄

第24回日本医療マネジメント学会山口県支部学術集会を、2025年11月15日(土)に山口労災病院講堂にて開催いたしました。



会場風景

当日は県内外から100名もの参加者を迎え、「病院経営について ~地域医療構想と病院改革~」をテーマに活発な議論が行われました。

一般演題では8題の発表が行われ、医療材料費削減や診療体制の改善、職員の働き方改革、病棟機能再編の検討など、各施設における取り組みが共有されました。いずれも医療現場の課題に即した内容であり、参加者から多くの質問や意見が寄せられました。

特別講演では、株式会社フィロソフィア経営企画部の北村 臣先生より、地域医療構想の方向性や病院経営改善